

い技術力や優れた人材を磨き上げ、山形の強みや新しく確立された技術の優位性を活かして、附加価値を高める取組みが重要であります。

このため、機械工場や自動車部品等の生産企業が内外に先行する先端的な研究開発の成果や技術を活かした事業化を促進するといいます。現地調査の動きながら、自動車関連産業や、本県の優れた農産物を活用した食品産業や、農業、さらには新エネルギー、医療・健康関連産業など、今後の成長を見込まれる新分野への参入促進など、これまでの取組みをさらに加速させる必要があり、強みと特色を活かしたものづくり産業の振興について取り組んでまいります。

また、本県のものづくり産業への参入企業の振興に向けた新商品開発や新たな事業展開への支援、多様な技術支援等を通じた技術支援につきましては、現在策定中の中小・小規模企業支援戦略に沿って、企業振興会等の産業支援機関との連携を一層進めることで、企業とのパート一体体制を充実するなど、企業との双方の連携ニーズを重視して取り組んでまいります。

これらの施策を支える基本となる人材につきましては、産業界や機械関連と連携した取組みにより、次世代を見据えた研究開発、新製品開発に取り組む人材を育成します。

【凡例】◎新規
○拡充
□継続

単位:百万円

ます

水産業の展開

開発の先行実証(9)

選(48)

展開(4)

(4)

(9)

構築(48)

(12)

援(25)【全国初】

成長戦略2
「食産業王国
やまとがた」
の実現!
⇒雇用創出

出し災害に強い県土基盤の形成

実現に向けた県民運動の推進(2)

と貨物量の拡大促進(480)

耐震化の促進(203)

の緊急対策(H24.2月)>(101)

災防・減災・長寿寿命化等の視点に立った道路、河

寿命化対策実施橋梁全県一位】

医療搬送体制の整備(70)

した積極的な公共投資の展開

83億円 → (15ヶ月予算) 1,254億円

271億円

成長戦略4
福祉・医療・教育
を充実!
⇒雇用創出

地域の再生

の構築

【再掲】

会の開催等)(202)

の推進(9)

立点の支援(18)

(1)

交付金)(88)

う本の柱に沿って

をつくる農林水産業の展開

限に引き出し、その付加価値を向上させる6次産業化と、食料品製造業との連携による商品開発プロジェクトの魅力創造事業を創設し、各地域の産地形成の取組みを目指します。

を支援するなど低成本作業システムの構築・導入を県産木材の販路拡大を支援します。

県土基盤の形成

いて、自然災害から県民のいのちと財産を守るために、進し、道路・河川などの社会資本の長寿命化対策に取

かな社会の構築

学校(仮称)の増築整備を進めるほか、新たに村山特にも、特別支援学校の未整備エリア等に分校を整備します。

に、小学部の分校を平成26年4月に、大江町三郷小学校4月に開校予定としております。

成長戦略2

「食産業王国
やまとがた」
の実現!
⇒雇用創出

国道112号、月山道路の 整備促進について



こうしたものづくり産業における振興施設の展開方向性について、企業や県民と共に有しながら、新産業の振興や中小企業支援に重点的に取り組むこととしており、積極的に取り組む県内企業を後押しして、「競争力のある産業群の形成」を目指すとともに新たな雇用の創出につなげてまいりました。

本県の道路交通網にとって、大動脈と言つてよい幹線道路でありながら一部だけ未整備で昭和61年以降東北横断自動車道、酒田線の本計画区间のままという状態で、整備計画区间には至っておりません。

これまで、県議会でも高速道路の整備に

向け議論がなされ、その都度、「事業化に向けて国に運動を展開していかたい」との回答がなされたものの、国に於いて整備促進に對しての前向きな回答を頂いていない状況にあります。

近年では、昨年の大規模な雪崩、本年に

あつては吹雪による天候変化や、交通事故に伴う通行止めが発生しました。

これは、高速道路が一般国道112号月

山道路を介して自動車専用道路で一本につ

がり、巡回路が確保できない根本的な要因であり、このことを重く受け止めて改めて早期整備促進に向けて取り組まなければならぬと考えます。

30年近く手つかずとなっているこの路線

の整備促進に向けた今後の取組みについて、

県土整備部長のご所見をお伺いいたします。

山岳道路であり、山形自動車道の月山一ICと湯殿山一間に連絡道路として庄内地域と県内陸部、さるに県外地域との物流

や交流連携へつなぐことのできない役割を担っています。

現存一部は自動車専用道路となつて

いるものの、道路線形が悪い区間や断面勾配が急な反面、また、冬期間の豪雪などの自然条件が、高速走行の支障となつているこ

とから、高速道路との別線での整備が求められております。

一方、本県としましては、現在、県内陸部のほぼ全境で整備が進められており、中央自動車道や、新潟・秋田両県境部の

着手区間の事業化に向け動き出した日本海

沿岸東北自動車の整備を促進し、ミッシン

ングリンクを早期に繋げることが重要であると想いでおります。

そのため、月山道路の区間ににつきましては、

県内外の産業・経済・観光交流等を支える

重要な区間であることから、高速道路として別線で整備されることを望んでおりま

すが、非常に大規模な事業となることから、

当面は、現道の防火・防災・防護施設による

安全性向上し、線形改良や追越車線の設置

などによる機能強化を図に働きかけてまい

ります。

模津博士は、月山道路の複線化実現に向

け、引き続き頑張ってまいります。

答弁者(同県土整備部長)
国道112号月山道路は、西川町・山沢

鶴岡市田麥(ま)原に位置する延長約21kmの

山岳道路であり、山形自動車道の月山一ICと湯殿山一間に連絡道路として庄内地域と県内陸部、さるに県外地域との物流

や交流連携へつなぐことのできない役割を担っています。

現存一部は自動車専用道路となつて